

地域・社会とのかかわり

荒川化学グループは、学術、文化、地域貢献などさまざまな活動を通じ、地域とともに歩む、信頼される企業をめざします。

■奨学金の初授与式

荒川化学が海外で初めて設立した「日本荒川化学奨学金」の第1回授与式が2008年1月15日、梧州荒川化学工業有限公司がある中国・広西チワン族自治区梧州市の梧州学院で開催されました。

奨学金は品行、学業とも優秀でありながら経済的理由で勉学を続けられない学生25名に毎年授与されます。



梧州学院奨学金授与式

■協賛活動

◎「深奥的中国 少数民族の暮らしと工芸」展

2008年3月13日から6月3日まで、大阪府吹田市の万博記念公園内にある国立民族博物館で、「深奥的中国 少数民族



「深奥的中国」展のパフレット

の暮らしと工芸」が開催されました。これは、中国広西チワン族自治区に住む、チワン族の文化を紹介する特別展で、広西チワン族自治区と由来の深い荒川化学が協賛したものです。

◎テニストーナメント

昨年に引き続き、12月10日から16日に神戸ワールド記念ホールで開催された「イザワクリスマスオープン・テニストーナメント」に協賛しました。

◎淀川市民マラソン

2007年11月4日、第11回大阪・淀川市民マラソンが行われました。荒川化学は協賛するとともに、フル、ハーフ合わせて16名が出場しました。



淀川市民マラソン参加者

■平成の通り抜け

平成の通り抜けは、「桜の会・平成の通り抜け実行委員会」(実行委員長: 建築家 安藤 忠雄氏)が、募金により桜を植樹して大阪市の名所をつくろうとする事業です。創業130周年記念事業の一環として、社員とOBから一人1万円の募金を募り、応募者69名の名前を刻んだプレートが2007年秋、南港中央公園の3本の桜の添え木に取り付けられました。



植樹された桜

応募者のプレート

■献血活動

2007年10月10日、筑波研究所で日本赤十字社による献血を実施しました。11月6日には富士工場で日本赤十字社主催の「秋の献血」が行われ24名が参加したほか、12月27日には大阪工場で「冬の献血」が行われ研究所も協力して35名が参加しました。



筑波研究所/献血



富士工場/献血



大阪工場/献血

Voice



筑波研究所
内匠 清

普段はモノづくりの研究開発で社会貢献に励んでいますが、人工的には作れない血液を提供するという、普段とは違った形で貢献をしたいと思い立ち、献血活動に参加しました。正直、血を真近にする事には抵抗もありましたが、実際に参加し、予想以上に血液が不足している事や400ml献血の需要が多い事、有効期間がある事などを知り、献血の必要性をこれまで以上に感じました。そして何よりも、まず行動する事の大切さを学びました。

■地域の美化・清掃活動

大阪市が主催する一斉清掃「クリーンおおさか2007」は2007年8月18日から24日にかけて行われ、本社(中央区)から14名が、大阪工場と研究所(鶴見区)から33名が、高圧化学(大正区)は初めて8名が参加し、担当区域の清掃を行いました。

また5月11日には、(社)関西経済連合会 都市再生委員会が主催する御堂筋完成70周年記念大清掃に本社から13名が参加したほか、5月27日には東京支店から中央区室町四丁目の町内会清掃活動(クリーンデー)に7名が参加しました。



大阪工場/クリーンおおさか2007



本社/御堂筋完成70周年記念大清掃



東京支店/クリーンデー